

のぎた たかはる
野北 孝治 たより

No.26

刈谷市宝町8丁目1番地
TEL:0566(24)5848

ごあいさつ

いつもお世話になっております。大府市議会議員の野北孝治です。
令和7年度の6月議会が6月2日～6月25日の24日間で開催されました。
議案では、財産の取得として消防に救助工作車の購入や、補正予算
では、平和事業として市役所の敷地内に平和の鐘の設置費用などが、
審議内容として盛り込まれており、市民の安心・安全に貢献できるか、
満足度・サービスの向上に繋がる事業となっているか、効率的で効果的な
内容となっているかを民間企業出身の議員として確認いたしました。
(5月の臨時会含む)6月議会での主な内容等をご報告させていただきます。



大府市議会議員
野北 孝治

6月議案内容(抜粋)

議案審議:報告7件、条例3件、補正予算2件、その他4件、計16件を審議

・大府市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について

男女ともに仕事と育児・介護を両立できるようにするため、条例を改正するもの
(内容)

職員の時間外勤務の免除対象となる子の範囲の拡大

「3歳に満たない子」→「小学校就学の始期に達するまでの子」

部分休業について、1年につき10日相当の範囲内での取得形態を新設する

【補正予算抜粋】

・誰一人取り残さない音楽のまちづくり推進事業拡充

音楽を「視覚と触覚」で感じられる仕組み「サウンドハグ」を使って
聴覚障がい者も一緒に楽しめるコンサートを12月に開催予定。

・救助工作車の購入について (約2億円 うち国庫補助金:約1/4)

消防車両更新計画に基づき、高度救助用資機材を積載した車両に更新する。

(主な装備)照明、クレーン、倒壊建物の安定を図る資機材、狭隘箇所搬送ストレッチャー等

・平和事業(平和の鐘の設置) 6,430千円

市民団体から500万円の寄付を活用し、市役所前の市民健康広場に整備する。

「平和の丘」に「平和の鐘」を設置し市民の平和への意識を高める。



「サウンドハグ」
イメージ画像

【5月臨時会 補正予算抜粋】

・健康増進・交流拠点建設工事

契約金額:514,580千円

市民の健康増進・多世代交流の機能と、長期欠席児童生徒の居場所
となる教育支援センターの機能を有する複合施設。学習室や相談室
を備えた市内2ヶ所目の交流拠点施設として建設。

2026年10月に開館予定。



完成予想図

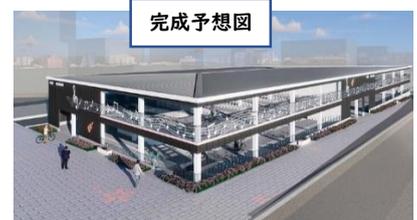
・自転車駐輪場整備工事(共和駅東)

契約金額:503,730千円

駅利用者の駐輪自転車増への対策として、共和駅東に2階建て
駐輪場を建設

重層化することで約1500台を約2000台(+500台)

2026年5月に完成予定。



完成予想図

・安心安全に暮らせるまち大府市について

【避難所について】

防災備蓄品の管理方法についての改善を考えているか

⇒備蓄食料において、購入年度と消費期限を記載し、購入した年度毎に色分けしたラベルシールを貼ることで、いつ購入し、いつまでに消費しなければならないかが一目で分かるよう区分けしている。円滑に管理できるよう、管理方法の改善を図る。

縁故避難等をしている市民の支援をどのように行う考えか

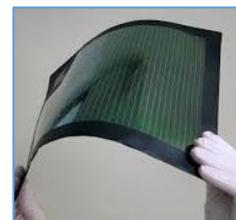
⇒大規模災害時は指定避難所への避難だけでなく、親戚や知人宅へ避難することは有効な手段であることを周知している。大規模災害時に在宅避難や縁故避難をしている市民が支援を必要とする場合は、各避難所において、避難者の登録をしていただき、備蓄品を配布することを想定している。



停電対策として、避難所に次世代型太陽電池を導入する考えはないか

⇒ペロブスカイト太陽電池につきましては、県が本年5月に「ペロブスカイト太陽電池推進協議会」を設立し、本市もメンバーの一員として参加しております。現状においては、実証フィールドの調査をしている段階なので、協議会や社会情勢の動向を注視しながら、情報収集に努める。

※ペロブスカイト太陽電池は、柔軟性があり軽量な為、従来の太陽電池では設置が困難だった建物の壁面や耐荷重のない屋根などへの設置が可能。



【交通安全について】

市長の回答：交通安全に対する市民の関心は高くなっており、日頃から市長への手紙・メール、自治区等からの要望、小中学校PTA等からの教育懇談会での要望などを通じて、多くの声が寄せられております。横根立会池公園周辺の違法駐車を抑止するためのポストコーンの設置、県道横根大府線のグリーンベルトの整備など、地域の実情に即した対策を迅速に講じてきた。

私自身が東海警察署を訪問し、積極的な要望活動を行い、共西町四丁目地内の都市計画道路「共和西線」における横断歩道の設置が実現する見通し。

自転車の通行量が多い駅周辺の歩道上における安全対策をどのように進める考えか

⇒植栽は沿道との景観の調和、環境への配慮、延焼防止の機能などの効果とともに、快適な歩行空間の構成要素として重要であると考えておりますが、安全の確保する必要がある場合は、植栽帯の撤去も含めた対応を検討



県道大府東浦線のウド交差点側の安全対策をどのように考えているか

⇒県道大府東浦線と市道ウド線との交差点について、愛知県と公安委員会との協議の結果、現時点では信号の設置は難しいと伺っている。

今後、交差点部の北側への道路延伸が実現すれば、信号機の設置が期待されます。引き続き、本市としても愛知県に対し、継続的に整備を要望していきます

・一般質問の原稿作成について

先日の新聞報道で、小牧市で一般質問の原稿を市の職員が作成しているとの情報が掲載されましたが、私を含む市民クラブのメンバーについてはその様な事は無く、全て自分自身で作成しております。また、過去の市民クラブの議員においても、その様な事はしていない事を申し添えさせていただきます。

その他、6月議会での議案等の審議結果については、大府市公式ウェブサイトに掲載しています。参照ください。